

認知症ケアパス ～認知症の進行と主な症状やサービス～

認知症の初期から進行して変化していく状態に応じて、どのような支援があるかを大まかに示したものです。なるべく早い時期から支援について知っておくことは、認知症の人の理解やケアに役立ちます。

気づき～軽度 → 重度					
	認知症の疑い	認知症を有するが 日常生活は自立	誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活に 手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 (症状や行動)	●物忘れはあるが金銭管理や買い物、書類作成など日常生活は自立 ●会話の中で「あれ」「それ」などの代名詞がよく出てくる ●同じことを言う ●物がなくなる	●買い物は同じものを何度も買う ●おれでしか支払えない ●調理の段取りや家計の管理に支障をきたす ●身なりを気にしなくなる ●意欲の低下	●季節に合った服を選ぶことができない ●服を着る順番がわからなくなる ●外出先から一人で戻れなくなる事がある ●時間や場所がわからなくなる	●トイレの場所がわからなくなり、排せつの失敗が増える ●食べ物でないものを口に入れる。 ●日常生活で常時介護が必要となる	●言葉によるコミュニケーションが難しくなる。 ●介護なしでは日常生活を送ることができなくなる
家族の 心構えや準備	◆「おかしい」「いつもと違う」と思った時には早めに相談しましょう ◆今後のことも考えてかかりつけ医を持つようにしましょう				
	◆本人の役割を全て奪わず、できることはしてもらう できるだけ失敗をさせない対応と、失敗が最小限になるようさりげないフォローをしましょう				
	◆介護・医療について知りましょう 認知症を引き起こす病気により経過や介護の方法が異なります。周囲が適切に対応することにより、穏やかな経過をたどることが可能となります				
	◆介護する家族の休息も大切に 全て抱え込まずに上手に介護保険サービスを活用しましょう。家族の会などで話を聞いたり、自分の気持ちを話せる場所をつくることも重要です				
	◆家族間で話し合っておくべき点（可能であれば本人も交えて） ・今後の金銭管理について ・どのような終末期を迎えるか				
相談窓口	◎地域包括支援センターなど				
	◎居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）など				
介護予防 悪化予防	◎サロン・シルバーリハビリ体操・介護予防教室・高齢者の居場所・老人クラブなど				
	◎通所介護、訪問介護				
	◎シルバー人材センター・ボランティアなど				
他者との つながり	◎サロン・シルバーリハビリ体操・介護予防教室・高齢者の居場所・老人クラブなど				
	◎通所介護、訪問介護				
	◎認知症カフェ				
見守り	◎民生委員・認知症サポーター・安心キット・シルバーSOSネットワーク宮古				
	◎緊急通報装置・お元気発信・配食サービスなど				
身体介護	◎通所介護・訪問介護・小規模多機能型居宅介護				
	◎訪問入浴				
家族を 支援する	◎認知症カフェ・認知症初期集中支援チーム・シルバーSOSネットワーク宮古など				
	◎介護用品給付券				
権利を守る	◎成年後見制度（任意後見制度） ◎日常生活自立支援事業 ◎成年後見制度（法定後見制度）				
	◎地域包括支援センター・みやこ圏域成年後見センター				
医 療	◎認知症初期集中支援チーム・かかりつけ医・認知症サポート医・認知症専門医・地域型認知症疾患医療センター				
住まい	◎養護老人ホーム・ケアハウス・サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームなど ◎認知症グループホーム・特別養護老人ホーム・有料老人ホーム				